

科名 外科

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 Pmab+CPT-11

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	…	14
1	点滴注	メイン	生理食塩水	250mL	ルートキープ 残ハキ可	↓			
2	点滴注	側管①	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート注	0.75mg 235mg 4.95mg	30分かけて	↓			
3	点滴注	側管②	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/Kg 100mL	60分以上かけて	↓			
ルートキープにて1時間休薬									
4	点滴注	側管	イリノテカン注 生理食塩液	150 mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			

★1クール=14日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

DLT:皮膚障害、下痢

【注1】ベクティビックス使用にあたってはKRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

【注2】ベクティビックスは生食で希釀。

【注3】ベクティビックス投与時は投与前後に生食でフラッシュし、
インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること

【注4】ベクティビックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。

2回目以降に重度のinfusion reactionを発現することもある。

【注5】8は持続注入用のポンプを使用して46時間で投与する。

【注6】ベクティビックス投与開始前に皮膚科依頼をし、皮膚障害のコントロールについて連携を図ること。